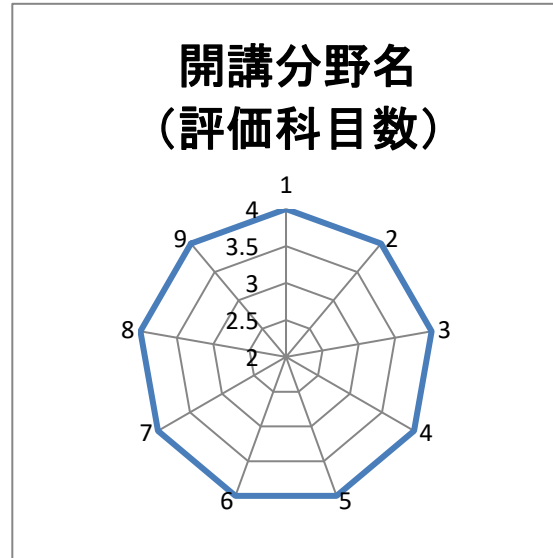
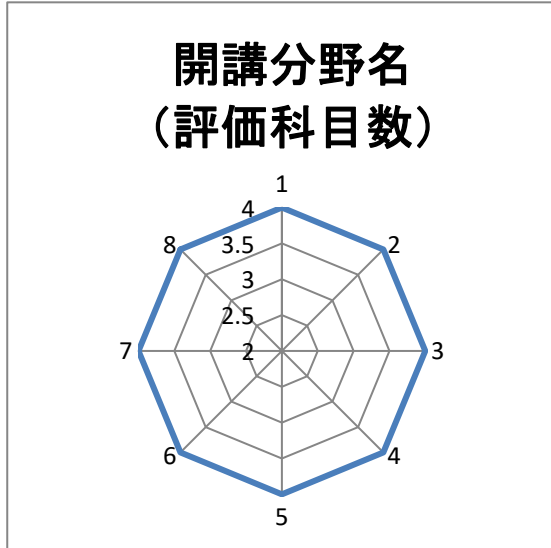


令和3年度分 開講分野別 学生の授業評価

表示形式 レーダーチャート

講義・演習科目

実習科目



各評価項目の平均評価点を4点満点で表示。
レーダーチャートは各軸2.0～4.0点の範囲で表示。
1～8の評価項目の内容は下記のとおりです。

- 1 この授業を受講するにあたり、自分自身が十分に予習・復習を行う等、積極的に取り組んだ。
- 2 この授業を受講し、内容に興味や関心が持てた。
- 3 初回から最後までこの授業はシラバスに則り、目的および到達目標とすべて合致していた。
- 4 毎回の授業のポイントはつかみやすかった。
- 5 毎回の授業の進み具合は適当であった。
- 6 毎回の授業の分量は適量であった。
- 7 教科書・配布資料(プリント・スライド等)を含む教材は役に立った。
- 8 教員の話し方は明瞭でわかりやすかった。

(注)

①授業科目ごとに評価を行っている。

各評価項目の平均評価点を4点満点で表示。
レーダーチャートは各軸2.0～4.0点の範囲で表示。
1～9の評価項目の内容は下記のとおりです。

- 1 オリエンテーションの内容は、実習を円滑に行うために役に立った。
- 2 カンファレンスは、学習を深めるために役に立った。
- 3 学習目的や到達目標に沿って実習を行うことができた。
- 4 今までの学習を活かして、実習を行うことができた。
- 5 今後の学習意欲につながる実習だった。
- 6 教員からの助言や指導は役だった。
- 7 実習に必要な物品は整えられていた。
- 8 実習施設のスタッフは、実習に協力してくれた。
- 9 実習時間は事前に示された時間とほぼ同じであった。

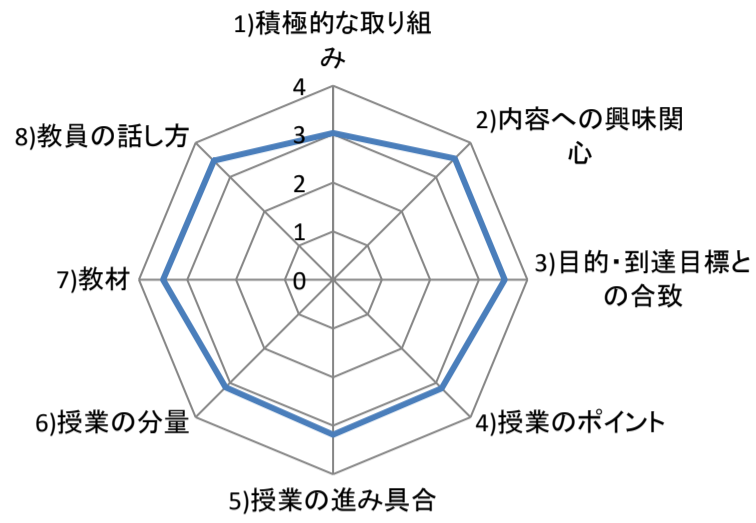
(注)

①授業科目ごとに評価を行っている。

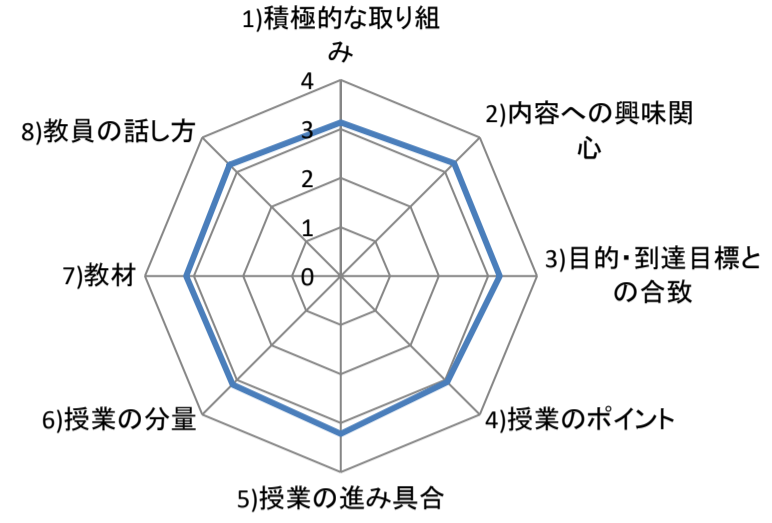
自治医科大学看護学部

*本看護学部のカリキュラムにおける開講分野ごとに平均評価点を示した。

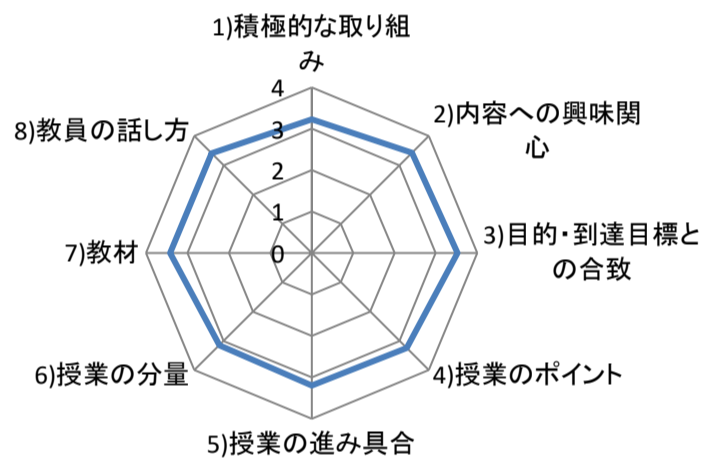
基礎科学分野
(評価科目数:31)



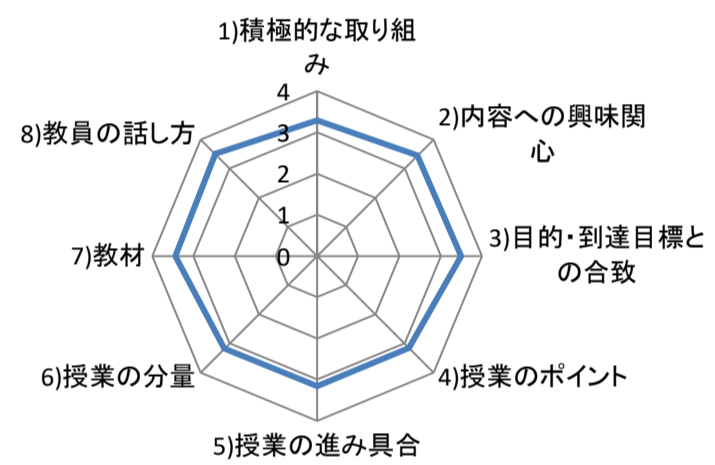
総合分野
(評価科目数:6)



看護学分野(発達過程に共通する看護実践)
(評価科目数:42)



看護学分野(発達過程に焦点をあてた看護実践)
(評価科目数:26)



看護学分野(各看護実習)
(評価科目数:12)

